

## 「東播磨県民局地域創生戦略（令和2年度～令和6年度）」改定案

### 【改定の経緯】

東播磨県民局では、令和2年度～令和6年度の地域創生戦略を策定し、これまで地域の活性化に取り組んできた。この度、中間年を迎えたことから、東播磨地域ビジョンの理念や時代の潮流を取り入れた改定を行うこととした。

### I 目指す姿

東播磨地域は、中央部に県下最大の河川「加古川」が流れ、南部は播磨臨海工業地帯の中央にあり、県下で最も製造品出荷額が多い地域である。

また、いなみ野台地では、「加古大池」をはじめとする個性豊かなため池が数多く密集しており、地域全体に海・川・ため池などの豊かな水辺空間が広がっている。これらの地域資源を大切に守り生かしながら、自然と地域が共生できる持続可能な地域づくりの展開を図ってきた。

人口の流れに目を向けると、管内には大企業に関連する優良な中小企業が多く、また自市町内もしくは近隣市町への通勤者が多い中で、0～14歳、20歳代後半～40歳代前半の子育て世代が公共交通の充実した地域に転入している。一方、20～24歳人口の転出超過が大きい傾向にあり、この世代の転出抑制に向けて、地域内で家庭を持ち子育てする環境を整えるため、働く場を確保するとともに、広域的に交通の利便性を高め、安心して生活を送ることができる地域づくりを進める必要がある。

また、新型コロナウイルスにより日々の暮らしや社会の有り方が大きく変化しているとともに、新たにSDGsや公民連携、DXが社会を取り巻くキーワードとして地域づくりの共通基盤となってきた。そんな中、東播磨地域ビジョン2050で掲げた「水辺・ものづくりのまちでつながりワクワクする未来」を基本理念として、以下の3つの将来像の実現を目指す。

- (1)誰もが自律し、健康で快適な生活を送る社会
- (2)防犯・防災の基盤が整い、力強い産業が活力を生み出す社会
- (3)自然環境の営みを大切に、地域内外の交流が広がる社会

### 【目標】

K P I	目標
観光客入込数	10,000千人 (H30:9,416千人)
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合 ※	全県平均並み (R1:全県 66.2%、東播磨 63.1%)
住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合 ※	全県平均並み (R1:全県 34.0%、東播磨 30.7%)
住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合 ※	全県平均並み (R1:全県 79.4%、東播磨 70.2%)
刑法犯認知件数	3,580件 (R1(5,113件)の70%)

管内の交通事故件数	2,860 件 (H30(3,574 件)の 80%)
住んでいる地域は、子育てがしやすいと思う人の割合 ※	毎年度前年度を上回る (R1:全県 55.4%、東播磨 62.6%)
お住まいの市・町の公共交通は便利だと思う人の割合 ※	全県平均並み (R1:全県 52.6%、東播磨 47.4%)
東播磨地域における若年者（20～24 歳）の転出入超過数	転入・転出均衡 (H30:544 人)
新規就農者数	20 人/年
管内の製造品出荷額	県民局別 1 位の維持

※は「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

## II 対応の方向性

東播磨地域ビジョンや新たに SDGs、公民連携、DX を共通基盤としつつ全県版地域創生戦略の地域の元気づくりと人口対策の 2 つの柱について方向性を示す。

### 【ビジョンの方向性】

- 1 軽やかに動き、いきいきと暮らす
- 2 ひとを育み、生きがいを実感できる
- 3 伝統と文化が息づき、交流が広がる
- 4 人・もの・情報がつながり、元気でにぎわう
- 5 自然を生かし、資源が循環する

### (地域の元気づくり)

- 1 地域資源を更にブラッシュアップを図るとともに、地域資源を連携させることにより「点」から「線」、さらには「面」として地域の魅力を創出する。
- 2 地域防災力の向上と住民が安全安心を実感できる施策を展開する。

### (人口対策)

- 1 安心して結婚・出産・子育てができるよう、ライフステージの様々な段階に対応した施策を展開するとともに、スマートシティの取組とともに、地域交通の最適化を進める。
- 2 地域資源を活用し、小学生からの「ふるさと意識」の醸成や若年層の雇用の場の確保、近郊農業の地の利を活かした農産物生産、新規就農による雇用創出などの施策により、東播磨地域への定着・移住を進める。

## III 具体的な取組

## (地域の元気づくり)

### (1) 人・もの・情報が交流する魅力と賑わいの拠点づくり

#### ①魅力と賑わいの拠点づくりの推進

産官学連携による空き家を活用したまちの再生等に取り組むとともに、フィールドパビリオンを充実させ、国際ロゲイニング大会など体験を含めた滞在型観光客の誘客に向けた取組を行う。

#### ②交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築

鉄道の連続立体交差に向けた検討を進めていくほか、東播磨道の整備、国道2号の4車線拡幅、渋滞交差点对策を行うほか、市町と連携し、播磨臨海地域道路の都市計画・環境影響評価手続を進める。

#### ③水辺との心豊かな暮らしが思い出に残るふるさと意識の醸成

豊かな海の再生やコウノトリが飛来する地で「いなみ野ため池ミュージアム」を進めるとともに、河川敷におけるマラソン・サイクリング・プロギング等を通じた交流促進により、豊かな水辺をいかした賑わいの拠点づくりに取り組む。

### (2) いきいきと暮らせる安全安心なまちづくり

#### ①地域防災力の向上

近年、全国各地で甚大な自然災害が頻発していることから、治水や地震対策を推進するとともに、住民が主体的に取り組む防災活動を支援する等、地域防止力の向上を図る。

#### ②安全な自転車利用環境の構築

自転車レーンや案内看板の整備、サイクリングイベントの開催など、誰もが安心して自転車を利用し、活用出来る環境を構築する。

## (人口対策)

### (1) 安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり

#### ①様々なライフステージに対応した子育て施策の推進

子育て世代の転入や、若者の定着促進に向け、安心して結婚・出産・子育てができるよう、雇用・就業支援、出会いの機会の提供、仕事と家庭の両立のために地域や企業と一緒にした子育て支援等の充実を図る。

#### ②スマートシティの推進

安全安心で快適性や利便性の高い社会サービスが提供されるスマートシティの取組を推進する。

#### ③健康・福祉の充実

食や健康、保育や介護などの様々な分野における新たな仕組みを検討・構築し、子育て世代を支援する。

### (2) 東播磨の特性をいかした産業の活性化と働く場づくり

#### ①東播磨ものづくり企業の魅力発信

未来を担う子どもたちが地元企業に愛着を持てるよう、ものづくり企

業などの体験ツアーの実施や、地域内外の大学生や高校生等の若者に地元企業の魅力をPRする機会を作り、若者の就業に結びつく支援を実施する。あわせて、その魅力を国内外に発信し、販路拡大にも取り組む。

## ②スマート農業の推進

農業従事者の高齢化や担い手不足が進行しているなか、地域農業の維持・発展のため、ICT等を活用したスマート化を図ることにより、作業の省力化や生産性の向上、高品質化とともに、データ活用など農業経営の高度化及び働きやすい環境づくりによる持続可能な農の推進を支援する。